

【その他】三菱地所、東南アジアでアウトレットモール事業を推進

2022/03/23 フィリピン経済金融情報 1206文字

2022年3月23日（水曜日）

インドネシアでは初の大規模高級モール事業に参画

三菱地所は、3月22日、「シンガポール証券取引所上場の総合デベロッパーであるTuan Sing Holdings Limited(Tuan Sing社)と共同で、ジャカルタ特別州東部のカラワン県においてラグジュアリーアウトレットモール事業『The Grand Outlet - East Jakarta』に参画する。この事業は、約8万8,000平米の広大な敷地に約180店舗(店舗面積約2万6,000平米)のインターナショナルブランドを取りそろえたアウトレットモールを開発するもので、インドネシアにおける初の大規模ラグジュアリーアウトレットとなる。着工は2022年半ば、開業は2023年後半を予定している」と発表した。

『The Grand Outlet - East Jakarta』は、ジャカルタとインドネシア第三の都市バンドンを結ぶインドネシア最大の交通量を有する高速道路沿いに位置しており、ジャカルタ中心部から車で約60分(40km)、最寄りのインターチェンジからも約10分と、高い利便性と抜群の集客力を見込んでいる。また、2022年末には、この事業から約3kmの位置に同2都市を結ぶ高速鉄道の駅が整備される予定となっており、一層の利便性の向上が期待される。

この事業では三菱地所設計が設計を担当し、“Shopping in Nature”をメインコンセプトに、自然から着想を得た特別感のある空間を演出する。憩いの場やイベントスペース“Green Hub”を設け、様々なイベントを開催するほか、キッズパークやフードコートも充実させ、ショッピングだけでなく、1日中アウトレットモールで楽しむことのできる体験を提供する。店舗構成では、ラグジュアリーブランドを中心とした物販店舗ならびにカフェやレストラン等の多様な飲食店舗を約180店舗誘致する予定。

東南アジア地域は、ASEAN諸国最大の人口とGDPを誇るインドネシアを筆頭に、今後更なる個人消費の成長が見込まれており、ブランドの新規進出や出店拡大も相まってアウトレットモール事業への需要が高まっている。上記事業は三菱地所グループとしてインドネシアにおける初のアウトレットモール事業であるが、2019年に参画したタイのラグジュアリーアウトレット『CentralVillage』では、2022年1月に拡張をしたほか、その他の国においても新たな事業機会を検討するなど、継続的に新規出店計画を進めている。三菱地所グループが国内で20年以上蓄積してきたアウトレットの開発・運営ノウハウや、これまでの海外事業実績などを活かし、東南アジア・オセアニア諸国において今後拡大する消費需要を取り込み、当該事業のリーディングカンパニーとしてアウトレットモール事業を積極的に推進して行く方針である。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報(以下「情報」)の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.